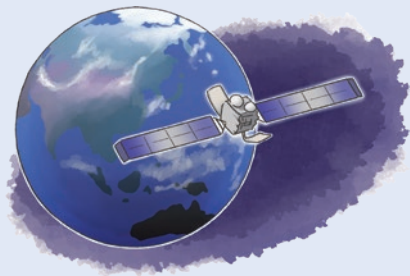


どのように?

(1)日本が「自分自身を守る力」を強くする

②宇宙・サイバー・電磁波への自衛隊の取組は?

宇宙を安全・安定的に
利用できるようにする



サイバー攻撃に
対応する



電子戦の能力を
高める



スタンド・オフ電子戦機(イメージ)

地図アプリの位置情報、インターネットでの調べもの、スマートフォンでの通話など、

私たちの日常に欠かせない機能は、「宇宙空間に打ち上げた人工衛星」

「情報通信ネットワーク上のサイバー空間」映像や音声をやり取りする電波を活用し、成り立っています。

これらは、日本の防衛にとっても非常に重要です。

自衛隊は宇宙に関してどんな仕事をしているの?

宇宙空間を安全・安定的に使えるよう、宇宙領域把握をします。

- 宇宙空間は、宇宙活動国が増加し、また、国際的な決まりごとがしっかり定まっていない面があり、外交・情報・防衛・経済と、それらを支える科学技術・イノベーションをめぐる競争の舞台になっています。
- 自衛隊は、宇宙での様々な危険(他の国の衛星を壊そうとする動き、宇宙ゴミなど)に対応するため、宇宙領域を把握し、宇宙空間を安全・安定的に使えるようにしています。

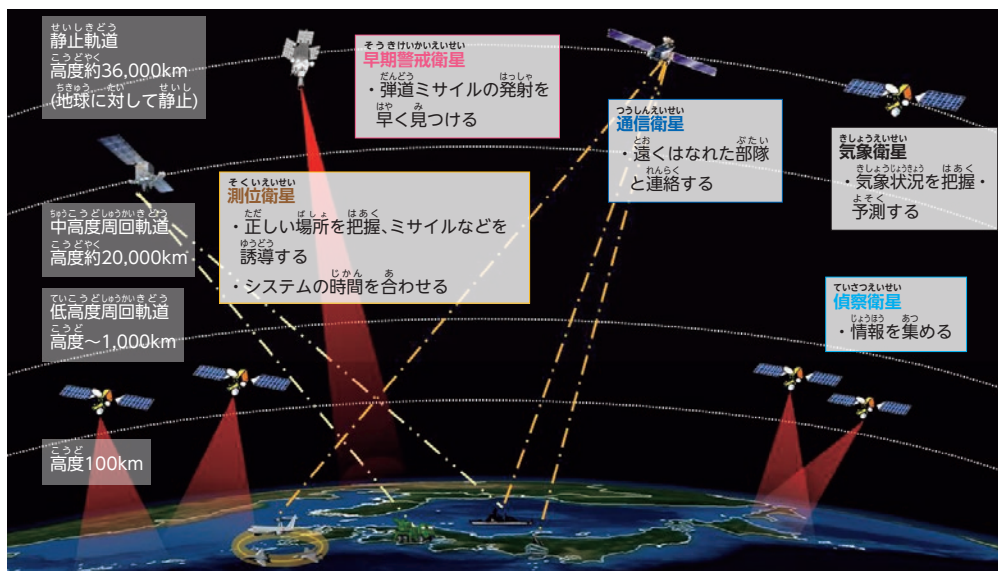
宇宙領域専門部隊を強くしています。

- 2020年度にできた空自宇宙作戦隊を大きくし、2021年度に宇宙作戦群としました。
- 2023年度は、宇宙作戦群の下に宇宙関連の装備品などの維持整備を担う第1、第2宇宙システム管理隊を新たにつくるなど、能力を高めようとしています。



宇宙領域把握

人工衛星などの位置や軌道などを把握することに加え、人工衛星などの活動・利用状況や、その人工衛星などがなぜその活動をしているか、どのような能力を持っているか把握すること。



安全保障分野における宇宙利用(イメージ)